

歯科材料5 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科金属用接着材料 70921000

メタルリンク

【禁忌・禁止】

- 1) 本材又はメタクリル酸系モノマー、アセトンに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- 2) 本材又はメタクリル酸系モノマー、アセトンに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

〔構成〕

性状	成分
液	アセトン、ホスホン酸系モノマー、チオクト酸系モノマー

〔原理〕

ホスホン酸系モノマーのホスホン酸基及びチオクト酸系モノマーのチオクト酸基が、貴金属又は非貴金属表面の水酸基に作用することにより接着性を高める。

【使用目的又は効果】

金属製修復物又は装置の接着に用いる。

〔具体的用途〕

- 1) レジン前装冠の作製と修理
- 2) 焼付陶材前装冠の修理
- 3) 金属床、金属クラスプ、金属アタッチメントを用いた義歯床の作製及び修理
- 4) 金属インレー、金属アンレー、金属クラウン、金属ブリッジ、金属スプリント、金属ポスト及び金属コアと歯科接着用レジンセメント及び歯科用接着充填材料との接着と修理
- 5) 歯列矯正用の金属ワイヤー、金属アタッチメントを用いた矯正装置の作製に用い、口腔内及び口腔外で使用する。

* 【使用方法等】

本材は、歯科用金属で作製した歯科修復物又は装置の表面を改質して各種レジン材料との接着性を高めるために使用する前処理材である。

〔使用方法〕

1) 被着面処理(前処理)

①口腔内操作の場合

接着させようとする被着面を歯科用研削材(ダイヤモンドポイント等)で粗造化し、水洗し、乾燥を行います。

②口腔外操作の場合

接着させようとする被着面を50~100 μ mのアルミナ粒子により約0.3~0.5MPaのゲージ圧でサンドブラスト処理を行い、水洗し、乾燥を行います。また、処理を歯科用研削材(ダイヤモンドポイント等)での粗造化に代えることもできます。

* 2) 本材の塗布・乾燥

本材をディッシュ等に適量採取し、被着面全体にディスポーザブルブラシ等用いて一層塗布した後、10秒間放置して自然乾燥を行います。

3) 歯冠修復物の作製・修理・接着

①歯冠用硬質レジンのオパーク塗布及び光重合、ボディ築盛及び光重合

歯科用金属製歯冠修復物の作製の場合は、使用する歯冠用硬質レジンの添付文書等に従って行います。

②歯科用色調遮蔽材料の塗布及び光重合

歯科用色調遮蔽材料の塗布及び光重合の場合は、使用する歯科用色調遮蔽材料の添付文書等に従って行います。

③光重合歯科充填用コンポジットレジンの充填、光重合、研磨及び仕上げ

歯科用金属製歯冠修復物の修理の場合は、使用する歯科充填用コンポジットレジンの添付文書等に従って行います。

④義歯床用アクリル系レジンの填入及び重合

義歯床の作製及び修理の場合は、使用する義歯床用アクリル系レジンの添付文書等に従って行います。

⑤歯科接着用レジンセメントの練和、装着及び余剰セメントペーストの除去、光重合及び研磨、仕上げ

歯科用金属製歯冠修復物の接着と修理の場合は、使用する歯科接着用レジンセメントの添付文書等に従って行います。

⑥歯科矯正用レジン材料の成型及び重合

矯正装置の作製及び修理の場合は、使用する歯科矯正用レジン材料の添付文書等に従って行います。

〔使用方法に関連する使用上の注意〕

- 1) 本材は揮発成分を含むため、採取後すみやかに密栓すること。また、採取後、すみやかに使用すること。
- 2) 処置する際は排唾管又はバキューム等を作動させること。
- 3) 本材を塗布する歯科修復物の被着面は汚染されないよう注意すること。もし、本材を塗布する被着面が唾液・血液等で汚染された場合は、例えばアルコール綿球等を用いて汚染された面を十分に清掃し、乾燥させ、再度本材を塗布すること。
- 4) 採取後の本材は、感染防止のため同一患者のみに使用すること。
- * 5) ディスポーザブルブラシ等は感染防止のため、再使用しないこと。

* 【使用上の注意】

〔重大な基本的注意〕

- 1) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- 2) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
- 3) 本材はアセトンを含んでいるため、換気のよい場所で使用すること。万一本材の蒸気を吸入して気分が悪くなった場合は、新鮮な空気の中で暖かくして休憩すること。
- 4) 本材は可燃性であるため、必ず火気を避けて使用すること。
- 5) 本材との接触による過敏症を防ぐため、医療用(歯科用)手袋及び保護眼鏡の着用等の防護措置を執ること。また、口腔軟組織や皮膚に付着した場合には、すぐにアルコール綿等で拭いた後、大量の流水で洗浄すること。なお、医療用(歯科用)手袋は本材の直接的な接触を防ぐが、一部のモノマーが短時間のうちに浸透することが知られているので、本材が付着した場合は直ちに手袋を捨て、流水で充分洗浄すること。
- 6) 本材が万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。

* 【その他の注意】

本材が患部以外の部位に付着しないように充分注意すること。本材が歯肉等の粘膜に付着した場合、その部分が白っぽくなる場合がありますが、これは一過性の現象で、2~3日で白変は消失します。なお、この間は、白変部分に直接的な刺激を与えないように配慮すること。

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕


- ・本材は、直射日光、火気を避けて、室温(1~30℃)で保管す

- ること。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

[有効期間]

本材の使用期限は包装に記載のとおり。

[当社データによる]

※(例  YYYY-MM-DD は→使用期限 YYYY年 MM月 DD日を示す)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者	株式会社 松風
住所	〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町 11
電話番号	075-561-1112